

個別の教育支援計画は、長期的な視点に立ち、教育・福祉・医療・労働等の関係機関が連携して一人一人のニーズに応じた支援を効果的に実施するためのものです。保護者を含めて関係機関と連携をとりながら学校が中心となって作成します。

個別の教育支援計画（参考様式）記入のポイント

<p>取扱注意 (様式例)</p> <p>加筆・修正した記入日と記入者を書きます。</p>		<h3>個別の教育支援計画</h3>		<p>個人情報のため、保護者に記入していただいたり、聞き取りながら記入したりします。保護者の希望で記入しない項目があってもかまいません。</p>		
		平成	年	月	日	記入者
		平成	年	月	日	記入者
		平成	年	月	日	記入者
ふりがな 児童生徒氏名		児童生徒 住 所		〒 ー 電話番号 () ー		
生 年 月 日 年 齢	平成	年	月	日	歳	
ふりがな 保護者氏名		保 護 者 住 所		〒 ー 電話番号 () ー		
		続柄 []				
家 族 状 況	家族 構成					
	特記 事項					
生 育 歴		<p>○出生時の様子や子育てで気になった点（運動・言語・対人関係等）を母子手帳などの記録をもとに記入します。</p> <p>○1歳半健診、3歳児健診、5歳児健診の様子も記入します。</p>				
医 療	薬物使用 の 状 況	常用薬の有無	有 ・ 無	平成 年 月 日 (現在)		
	特記 事項	○医師等の指示（日常生活における配慮事項等）を記入します。				
療育・教育歴		○今までの病院の受診歴、教育相談歴、発達検査の結果等を記入します。				
特 記 事 項		○療育手帳を持っている場合は、援助・福祉のサービス等との関係上、把握しておくべきことを記載します。				



「個別の教育支援計画作成マニュアル」（鳥取県教育委員会）参照
「特別支援教育課HP」よりダウンロードできます。

		氏名 ()		
本人の状況	生活実態	○最近の本人の様子、一日の過ごし方についての特徴的なこと、家族や友だちとの関わり、情緒面など		
	興味・関心	○学校での活動(クラブ活動など)地域活動への参加の様子、夢中になっていることなど特徴的なこと		
	その他	○性格、行動の特徴、コミュニケーションなど		
本人のニーズ		○支援者の観察や本人のつぶやき等から捉えます。保護者の願いと異なる場合もありますが、あくまでも本人の思いや願いを記載します。		
保護者のニーズ		○学校卒業後の将来の姿を想像しながら、中・長期的な見通しも記載します。したがって、小・中・高等学校等の進学についてだけでなく、就労等についての思いや願いなども記載します。		
学校における支援	支援目標	○原案を立てた後、校内委員会等で検討し、作成します。 ○長期的なスパンを見据えて設定します。		
	主な支援内容	○書き方例 ……の環境を整える ……の場を設定する ……………に配慮する ……が経験できる活動を増やす ○交流及び共同学習や、通級による指導についても必要に応じて記入します。		
他の関係機関における支援内容				
家庭生活	地域生活	福祉関係	医療関係	労働関係
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>関わりのある関係機関について記載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機関の名称 ・担当者氏名 ・連絡先(住所・電話番号) ・主な支援内容や配慮事項等 </div>				

本人の興味・関心のあること、得意なことや好きなことなどは、指導や支援の手がかりとして重要です。

<作成にあたって>

- 担任等の気づきや本人・保護者からの相談を受けて、作成について校内委員会において協議します。
- 保護者との共通理解を図った上で関係者や関係機関と連携して作成します。

<活用の方法>

- 保護者や本人との話し合いが「活用」の第一歩です。
- 支援を積み上げていく際に活用し、見直しを図ります。それにより一層、的確な支援を行うことができます。
- 転学や卒業においても転学先や進学先への大事な引継資料となります。
- 引継のあった個別の教育支援計画は、転学先や進学先においても引き続き作成して、有効に活用します。

留意点

- 個人情報漏えいしたり滅失したりすることがないようにしてください。
- 各自治体における個人情報保護条例等の規定に基づき、適切な管理や取扱いを行う。

